

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No. 11205

1. 開設大学	広島経済大学	開講場所 (キャンパス・施設)	本学
2. 科目名	日本人・日本語・日本文化		
	学問分野	番 号	12 名 称 言語学
3. 担当教員	中村克洋 経済学部メディアビジネス学科教授		
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 27 年 8 月 20 日 (木) ~ 平成 27 年 8 月 21 日 (金) 10 時 00 分~16 時 00 分 【1 時限 10:00~10:50】【2 時限 11:00~11:50】 【3 時限 13:00~13:50】【4 時限 14:00~14:50】【5 時限 15:00~16:00】		
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /
	13 回目 /	14 回目 /	15 回目 /
5. 募集定員	50 人 * サテライトキャンパスの場合は 50 人以下を原則とします		
6. 科目内容・ 授業計画	日本人・日本語・日本文化、この三つは、いわば三位一体となって私たちを規定しています。言語の発生から、私たちの現代の暮らしまで、日本人・日本語・日本文化のスパイラルで読み解いていきます。 ◎ 一日目 (8 月 20 日) ①『人間と言語』(資料「人類進化 “言語”」) (言語の発生・人類進化と言語) ②『言語とは』 (コミュニケーション手段としての『言語』の定義) (「ラング」と「パロール」・他言語と日本語の比較研究) ③『日本語とは』(資料「茶の湯」) (「言語・人間・文化」のスパイラルの例示) ④『日本語とは』(資料「秋田の五十音」「方言」) (発声技法研究・日本語の話し言葉表現の特性については後述) ⑤『日本語の身体表現技法』(資料「人類進化 “表情”」) (「言葉」と「話し方」の理解・ミラーニューロンと身体表現) ◎ 二日目 (8 月 21 日) ⑥『日本語の説得技法』 (日本語の会話表現技法と説得・古典的説得技法) (質問によるアサーティブ・リアクタンスを生まない理想の説得技法) ⑦『日本語の E & E 会話技法』 (よりよいコミュニケーションを構築する) ⑧『言霊と日本人・日本文化①』(資料「桓武天皇と怨霊信仰」) (言霊と日本の歴史・文化) ⑨『言霊と日本人・日本文化②』(資料「百人一首と言霊」) (忌み言葉と現代日本文化) ⑩『日本語と私たちの暮らし方』 (日本語の話し言葉表現の特性・日本語と日本人の暮らし・将来) (日本語文化の中の日本人として生きるためのいくつかのヒント)		
7. 受講料	なし		
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
9. 開講条件※1 あり・ない	① 最少開講人数 () 人 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 (7 月 17 日(金)以前の開講科目は 3 月末まで/7 月 18 日(土)以降の開講科目は 6 月末まで)		
10. その他特記事項	特になし		
11. 開設大学への 交通手段	http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。		

※1 申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。